

創業計画書

作成日 年 月 日

氏名		住所			
電話番号		FAX		Email	

1 基本事項

業種			創業時期	年 月
組織形態	個人・法人	商号・法人名		
事業所所在地				

2 事業内容など

創業動機 (目的)(理由) (経営理念)				
事業の概要 どこの業界で 何をするか (商品・サービス) どのようにするか				
市場の環境 (外部環境) (機会・脅威)				
自社の状況 (強み・弱み)				
事業の将来目標				
事業の課題 (目標を達成するための)				
勤務・事業経験	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
事業協力者	無・有	氏名()	関係性()	

3 必要な資格と許認可

資格の名称		取得年月日	
許認可の名称		許認可年月日	

4 販売計画

販売先・受注先	販売方法・客単価

5 仕入先

仕入先・外注先	仕入方法・仕入原価率

6 設備工事計画

店舗・工場・事務所	
内外装・機械・設備	

7 要員計画

	現在の従業員	新規採用予定		
		年 月	年 月	年 月
常時雇用	人	人	人	人
パート・アルバイト	人	人	人	人
上記のうち有資格者	(人)	(人)	(人)	(人)

8 収支・利益計画

単位：千円

		創業後 3 ヶ月分の見込み	創業後 6 か月分の見込み	創業後 1 年分の見込み
売上高 ①				
(積算内訳)				
仕入高 ② (売上・製造原価)				
(積算内訳)				
経費	人件費			
	(積算内訳)			
	その他			
	(積算内訳)			
	返済利子			
経費合計 ③				
利益=①-②-③				

* 注1 売上高の積算内訳は、以下を参考に記入してください。

- ・ 小売業等の場合 客単価（一人当たりの平均購入額）×客数×月営業日数
- ・ 製造業等の場合 受注件数（月）×平均受注額

* 注2 仕入高の積算内訳は、以下を参考に記入してください。

- ・ 仕入高=売上高×製造原価率(%) 製造業等の外注費は仕入高（製造原価）に入れてください。

* 注3 人件費は、個人事業の場合は事業主の分を含めません。法人の場合は、経営者・役員の報酬を含めます。

* 注4 その他経費には、地代家賃・光熱費・旅費交通費・広告宣伝費・荷造り運搬費・接待費などがあります。なお、借入金の返済元金や法人税・所得税等は経費となりません。

* 注5 例) 1,000 万円の融資実行、毎月 14 万円を 72 回返済（据置無）、貸付利率 3.0%とした場合の返済利子。

- ・ 算出基準【融資残高×貸付利率／年日数×月返済期間日数】（円未満切捨て）例：1月～3月算出

【1,000 万円×3.0%/365 日×31 日】 + 【986 万円×3.0%/365 日×28 日】 + 【972 万円×3.0%/365 日×31 日】 = 72,936 円（3 か月分）なお、初回の月返済期間日数は、融資実行日から初回返済日までになります。

* 貸付利率は金融機関が決定（固定で上限 5%の範囲内）しますので、ここでの返済利子は見込み計算になります。

9 資金調達計画

(単位:千円)

必要とする資金		金額	調達の方法	金額
設備資金	土地・建物取得 ① (賃借に伴う敷金・保証金を含む)		自己資金(注1) ① 計	
			預貯金	
			()	
	備品購入費 ②		金融機関借入金 ② 計	
	工事費 ③ (内装・改修工事費等)		流山市創業資金	
			千葉県制度融資	
		政府系金融機関 (国民生活金融公庫等)		
	その他 ④		()	
	①+②+③+④ 計		その他 ③ 計	
運転資金	人件費		親族等からの借入	
	仕入		()	
	家賃		()	
	光熱費		()	
	消耗品		()	
	()			
合計 A 設備資金+運転資金			合計 B ①+②+③ (注3)	

* 注1 当面の生活費や住宅ローン等の返済資金は、自己資金から除いてください。

- ・ 創業前の方は、借入希望金額と同額以上の自己資金があること。

* 注2 運転資金は、3か月分を記入してください。

- ・ 事務所・店舗の賃貸借の手数料・礼金・家賃、設備のリース料は運転資金になります。

* 注3 合計欄は必ずA=Bとしてください。

《参考》連帯保証人または担保

連帯保証人は、個人は原則不要です。法人は、代表者以外の連帯保証人は原則不要です。その他、担保等も含め必要となった場合は保証協会の定めに従ってください。

住所		氏名	
職業・年齢	() 歳	申込人との関係	
提供可能な担保物件			